外国語活動。



第6学年における活動で配慮することは何か。

第5学年の学習を基礎として、友達とのかかわりを大切にしながら、児童の 日常生活や学校生活に加え、国際理解にかかわる交流等を含んだ体験的なコミ ュニケーション活動を行うようにすること。



★ 第5学年での経験をもとに、友達とのかかわりを大切にしながら、世界へのつながりや広がりに関する活動へ発展させていく。



例 「世界のさまざまなあいさつ」, 「世界の文字」, 「世界の子どもたち の生活」, 「夢」など



★ 児童の視野を世界へと広げるとともに、日本の文化、国語、自分自身 にも興味をもたせる。



※ 外国語を用いた交流活動などの体験的なコミュニケーションを通して深めていくことで、外国人とのコミュニケーションを図る楽しさを体得させる。